

公孫樹 (いちよう) 12月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

ありがとう さようなら 菊野先生

菊野享子先生は、11月14日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「感謝」 菊野えりか

亡き母の葬儀にあたり、たくさんの行田中学校関係者の皆様にご参列いただき、誠にありがとうございました。

母は、情に厚く、何事にも一生懸命な人でした。担任するクラスが体育祭で優勝すると、家に帰っても私たちに自慢していました。生徒のことをいつも一番に考え、入院中でも通級指導教室に通ってくる子供のことを気にかけていました。

母にとっても私たちにとっても、抗がん剤治療はとても辛いものでした。日一日と衰弱していく母を見るのは耐え難いものがありました。しかし、教員として最後の最後まで頑張れたのは、行田中の保護者の皆さん、生徒の皆さん、卒業生の皆さん、そして先生方のおかげだと思っております。今まで母が大変お世話になりました。55年間の短い生涯でしたが、母はきっと幸せな人生だったと思います。

全ての方に感謝いたします。本当にありがとうございました。



「菊野先生のご功績」 校長 柏瀬裕之

菊野先生は、鷲宮中学校を初任に、行田西中、太田中、忍中、行田中でご勤務なされ、本校の勤務が10年目を迎えておりました。

本校では平成23年度まで、家庭科教師、学級担任としてご活躍なされ、その卓越した家庭科教育の手腕が内外から認められ、平成19年度に埼玉県の「優秀教員(はつらつ先生)」、平成20年度には「文部科学大臣優秀教員」として表彰されました。

平成24年度からは、行田市の中学校に新設された「通級指導教室」の担当として、本校の生徒だけではなく、他校の生徒にも深い愛情のもとにご指導していただきました。

今も続く、保育園・幼稚園実習を企画・運営いただいたのも先生のご功績でした。また、今年度から行田特別支援学校との交流会を企画していただき、本校と特別支援学校との絆も深めていただきました。昨年度は、「行田夢まつり」の足袋コレクションに生活科学部の生徒と共に考案した「デニムの足袋」を出品し、そのステージ発表に際しては、ダンスの振り付けまでもご指導していただきました。

菊の花言葉は、「高貴・高尚・真実の愛・女性的な愛情」などの他に、「あなたはとても素晴らしい友達」という言葉がありました。菊野先生は私たちにとって、正に「とても素晴らしい友」でした。これまでのご貢献、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



H27.11 「行田夢まつり」にて

「菊野先生に捧げる」 五十嵐元子

菊野先生とは長い付き合いでした。思い出が多すぎて整理できませんが、とにかく2人でよく笑っていました。苦労したこともありましたが、菊野先生と共に乗り越えてきました。本当に色々なことがあった9年間でした。その中で一番嬉しかったのは、菊野から高橋に姓が変わると聞いた時でした。学校では菊野姓のままでしたが、私的には高橋姓を名乗っていました。

心の広い温かい素晴らしいパートナーと、これからもずっと幸せになってね！と言っていたのに…。

本当に残念で可哀そうです。多くの人を悲しみの涙にした菊野先生。空から私たちを見守ってください。

「今までありがとう！」



H23.9 体育祭担任クラス 優勝！

「やさしい先生」 生活科学部長 小林夢奈

私たち生活科学部の顧問、菊野先生は笑顔の絶えないとても優しい先生でした。

私たちが入部したときの生活科学部は、部活内容がほとんど無に近い状態でした。そんな状態を変えたかった私たちは、菊野先生に頼みました。「もっと活動を広げたい」「夏休みの部活を増やしたい」そんなわがままばかりです。でも、菊野先生は、いろいろなコンテストを探してきたり、部活時間を増やしてくれたり、私たちの願いをすべて叶えてくれました。その後も私たちに温かく見守ってくれました。でも優しいのは私たちだけにではありませんでした。他の生徒にも平等に優しく接し、笑顔を絶やしませんでした。

そんな先生だからこそ皆から好かれて、愛されていました。もうその笑顔が見られないのは、本当に悲しいです。先生の悲しい知らせを聞いて皆驚き泣きました。そして、お通夜に行くと菊野先生の笑顔の写真が目に入り、また泣きました。私たちの中にはずっとその笑顔が残っています。

これからも、先生は私たちのことをいつまでも温かく見守ってくれていると思います。



先生と考案したデニムの足袋

資源回収 よろしくお願いいたします。

12月17日(土) 8時から12時まで、今年2回目の資源回収を行います。行田中学校の教育活動充実のために、出来る限り多くのご協力をお願いいたします。また、係はいませんが、12月12日(月)から18日(日)の期間は集積コンテナが設置されておりますので搬入は可能です。

- 回収品目
段ボール・新聞紙・雑誌・アルミ缶・衣類
(もう一度着られるもの。肌着・下着は不可)
- 回収できない物
家電製品・鉄くず・ぼろ布・ビン・スチール缶

